

I 旭地区の概要

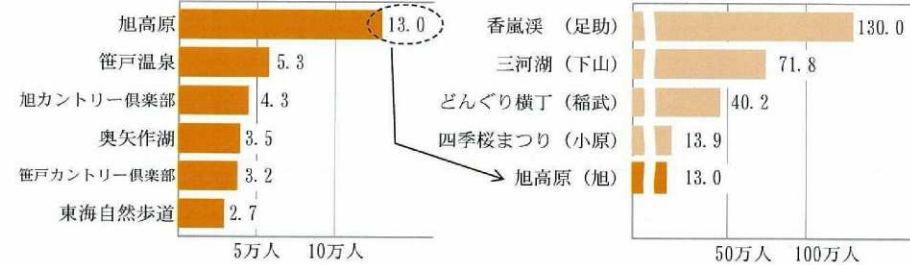
1 ～山・川・高原～豊かな自然が魅力の山里の地区であり、自然を活かした観光資源がある

- ・愛知県の北東部、岐阜県との県境に位置する。愛知高原国定公園に含まれ、地区の約8割が山林に覆われる。
- ・矢作川が地区の北部を流れており、岐阜県との県境には矢作ダムと、それに伴う奥矢作湖が広がる。
- ・四季を通じて、野山の移り変わりなど魅力や見どころがあふれている。
- ・愛知県で唯一「水の郷百選」に選ばれている。
- ・良質な鉱泉が湧出する地で、笹戸、小渡、柳野の温泉地は奥矢作温泉郷として古くから湯治客に親しまれている。

◆自然を活かした観光資源



◆平成17年度主な観光地別入り込み客数及び、豊田市他地区の主な観光地との比較



- ・旭地区で最も集客力の高い観光地・観光資源は旭高原（13万人）で群を抜いている。
- ・次いで笹戸温泉（5.3万人）、旭カントリー倶楽部（4.3万人）である。
- ・豊田市の他地区の主な観光地と比較すると、足助地区の香嵐渓の約1割の客数である。
- ・三河湖（下山）、どんぐり横丁（稲武）と比較しても半数以下である。
- ・旭地区は8月と5月の入り込み客数が多く、それぞれの年間入り込み客数は14.3%、11.4%である。

資料：豊田市観光交流基本計画

2 人口の減少、高齢化が進んでいる

- ・年々、人口が減少しており、昭和40年（約40年前）と比べると半減している。
- ・65歳以上の割合が約4割と高く、14歳以下が1割以下と低い。豊田市地区別と比較しても、旭地区は65歳以上の割合が最も高く、14歳以下の割合が最も低い。

◆人口・世帯数
(単位 人、世帯)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成20年
人口	6,482	4,821	4,213	3,844	3,748	3,533	3,359
世帯数	1,465	1,246	1,147	1,125	1,098	1,098	1,110

◆年齢階層別人口 (単位 人)

	0～14歳	割合	15～64歳	割合	65歳以上	割合
旭地区	286	9%	1,777	53%	1,296	39%

〈参考
市内地区別/年齢別人口〉

	人口	0～14歳	割合	15～64歳	割合	65歳以上	割合
全市	57,875	8,775	15%	264,253	70%	55,815	15%
小原地区	424	42	10%	2,500	58%	1,399	32%
足助地区	928	93	10%	5,273	58%	2,949	32%
下山地区	678	86	13%	3,418	63%	1,299	24%
稲武地区	235	19	8%	1,567	54%	1,074	37%

資料：平成21年1月の豊田市の人口

3 商業の取り組みの現状

◎地域バスの利用促進やバス事業継続に貢献する取り組みを行っている。

平成14年から13商店が加盟して、売上1%のサービスポイントを出している。平成19年10月から地域バスが運行され、新規の客が増加している。この地域バスを利用して来店した客には、サービスポイントを提供し、バス利用を応援している。

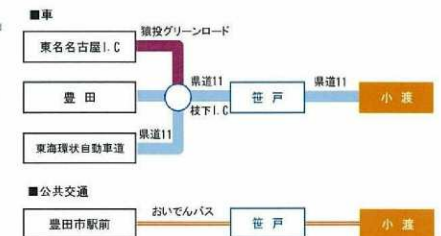
◎地域貢献につながる商品券事業に取り組んでいる。

平成16年から、地域住民の要望により、商品券事業に取り組んでいる。お見舞い返し、内祝、各種大会等の賞品として利用が定着してきた。

◆旭地区位置図



◆交通アクセス



※東名名古屋I.C.から約70分
※東海環状自動車道勸八I.C.から約40分

※おいでんバス豊田市駅から約70分

資料：第7次豊田市総合計画（豊田市幹線道路整備計画図）より抜粋

II 旭地区小渡商店街 商業の現状

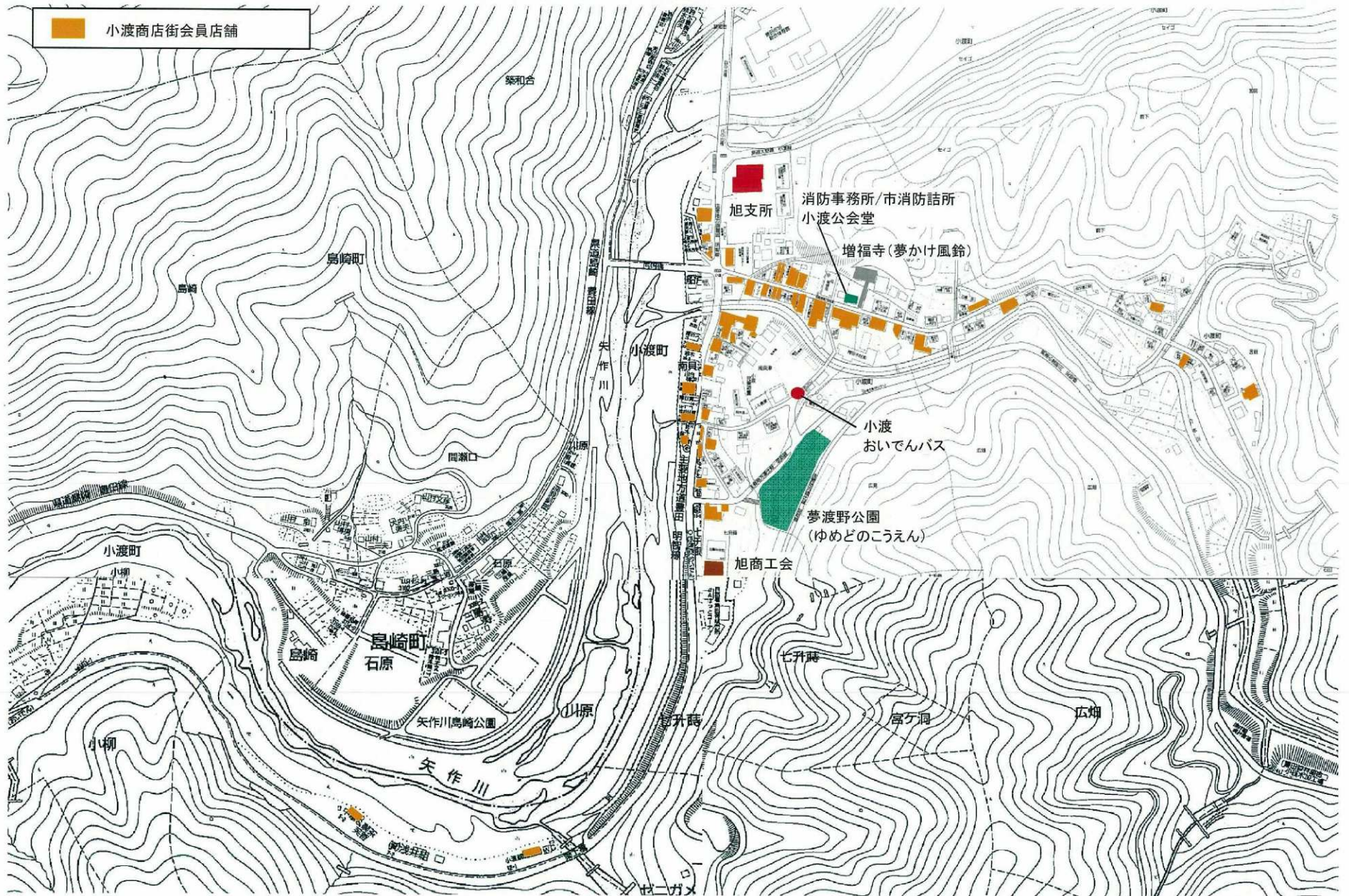
◆会員数 44軒
(うち準会員3軒)

■ 小渡商店街会員店舗

◆業種別構成比

小売業	
23軒	56%
サービス業	
8軒	20%
飲食業	
5軒	12%
その他	
5軒	12%
合計	
41軒	100%

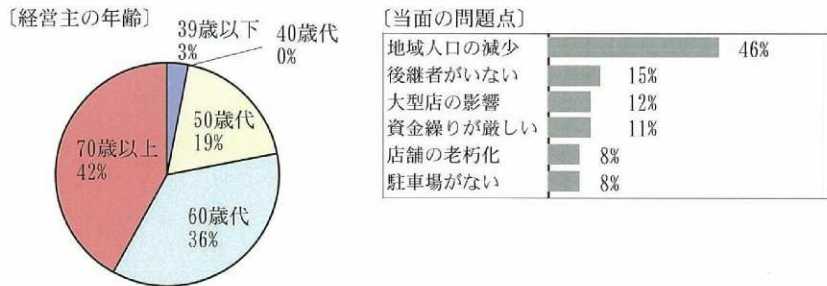
準会員	
3軒	-



Ⅲ 小渡商店街の課題

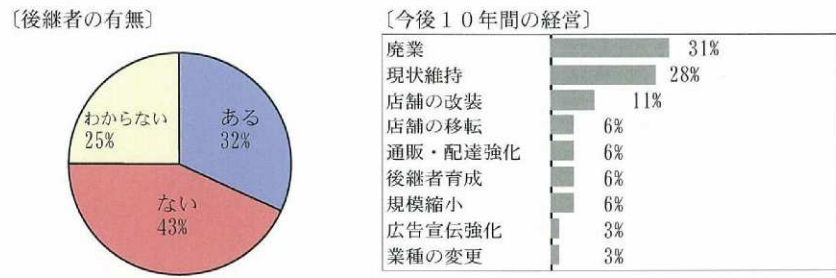
1 経営主の高齢化が進んでおり、なおかつ、商店街の将来を担う世代がほとんどいない。

- ・60歳以上の経営主が78%で約8割を占める。
- ・40歳代以下を見ると、40歳代は1人も居らず、39歳以下で、わずか3%である。
- ・商店街アンケートの「当面の問題」に対する回答は、「地域人口の減少」が46%と圧倒的に多かった。



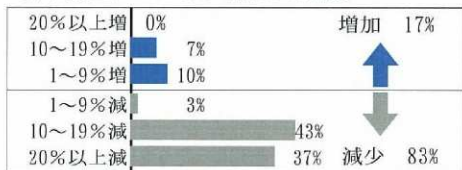
3 後継者が決まっていない店舗が68%あり、将来廃業を考えている店舗が31%ある。

- ・「後継者がある」という回答は32%で、「後継者がいない」は43%となった。
- ・「分からない」という回答は25%であった。
- ・後継者が決まっていない（後継者がいない43%+わからない25%）が68%となる。
- ・今後10年間の経営について「廃業」と回答した店舗が31%と、最も高かった。



2 3年前の売上と比較すると、ほとんどの店舗が10%以上減少している。

〔年間売上について3年前との比較〕



- ・「減少した」と回答した経営主が83%、対して「増加した」と回答した経営主が17%となった。
- ・「減少した」という回答のうち「10~19%減少した」という回答の経営者が43%と最も高かった。次いで高かったのは「20%以上減少した」で、37%となった。
- ・「1~9%増加した」と回答した店舗が10%あった。

4 活性化に必要な対策として「空き店舗の活用・個店の魅力づけ・特産物の開発」が強く求められている。

- ・活性化に必要な対策として、「空き店舗の活用」を挙げている経営主が26%と最も高い構成比となった。

〔活性化に必要と思われる対策について〕



資料：小渡商店街アンケート調査

- ・経営主の高齢化、後継者不足により空き店舗が、今後ますます増加すると考えられる。アンケート結果からも、活性化に必要な方策として「空き店舗の活用」が1位にあげられている。しかし、商店街全体の売上減少や人口構成比における若年層の割合の低さを見ると、自然発生的に空き店舗が解消されるとは考えにくい。
- ・高齢の経営主が商店街の約8割を占める現状の中で、現状の商店街会員で活性化を推進するのは難しい。
- ・旭地区では、特産品や自然を活かした観光地はあるが、それらが大きな集客力にはつながっていない。

IV 基本方針

1 商業の課題の対応策

商業の課題	対応策
<ul style="list-style-type: none">・経営主の高齢化、後継者不足により空き店舗が、今後ますます増加すると考えられる。アンケート結果からも、活性化に必要な方策として「空き店舗の活用」が1位にあげられている。しかし、商店街全体の売上減少や人口構成比における若年層の割合の低さを見ると、自然発生的に空き店舗が解消されるとは考えにくい。・高齢の経営主が商店街の約8割を占める現状の中で、現状の商店街会員で活性化を推進するのは難しい。・旭地区では、特産品や自然を活かした観光地はあるが、それらが大きな集客力にはつながっていない。	<ul style="list-style-type: none">◎能動的、積極的に空き店舗の活用を目指す。◎観光客を確実に商店街に引き込むと共に、商店街自体が観光の核になることを目指す。◎高齢化が進み人口が減少する中で、商業の活性化、地域のコミュニケーションを維持するために観光客等の来街者増を目指す。

2 基本方針

- ◎観光客等外部からの人を呼び込むために、特産品を活用した商店街オリジナル品の開発を行う。
- ◎空き店舗や古い施設、遊休地（空き地）を活用し、出店や店舗の魅力化のモデル事例をつくる。
- ◎地域と観光客等とのコミュニケーション施設の設置を検討する。

コンセプト

『**夢**とろろ、**夢**かけ風鈴、**夢**渡野公園（ゆめどのこうえん）3つの**夢**で、昭和30年代の賑わいを取り戻そう。』

取り組み①特産物を生かした土産物の開発

新規

地域の特産品である自然薯を核に据え、1年中販売できる工夫や竹の子のピン詰めの加工品開発を行い、商品化と商業活性化を目指します。

商品化の例（他地域事例）



自然薯販売（家庭用）



自然薯販売（進物用）



竹の子のピン詰め



とろろうどんセット
（犬山 夢とろろ）



加工品の開発（自然薯もち）



とろろを使用した飲食店メニューの開発

販売方法

- 店頭販売→商店街各店、イベント会場
コミュニティ施設「ゆめどの」
- 通信販売→ホームページ

取り組み②歩いて楽しいしくみづくり

新規

■散策マップの作成

観光名所、公共施設の案内からお店の紹介を入れた散策マップを作成します。



↑例）湯布院お散歩マップ

■散策路整備

観光客が安全に快適に散策できるように、案内看板やベンチの設置を検討します。

■駐車場整備の検討

駐車場用候補地の洗い出し等調査をします。

新規

新規

取り組み③ 空き店舗や空き施設、遊休地（空き地）を活用した取り組みの検討

■空き店舗や施設の活用

観光客や地域住民などその時代のニーズに合わせ活用方法を検討します。

空き店舗活用イメージ

<p>夢かけ風鈴工房 風鈴の絵付けなど工芸品づくりを手軽に体験できる</p> 	<p>カフェ テイクアウトもできる。地元の特産物を利用したメニューもある</p> 
<p>小渡マーケット 開発した特産物、農家直送の新鮮野菜や工芸品を販売する</p> 	<p>ギャラリー ギャラリーには旭地区や小渡の歴史、四季の写真などを展示する。将来はテナントを入れてショップとして活用も可能</p> 

ゲストハウス（宿泊・休憩）
ツーリングや釣り客、バックパッカーなど個人旅行者が気軽に宿泊・休憩できる、相部屋形式の安価な施設館中の旅館「藤屋旅館」があり、こちらのご主人が前向きに検討しており、ここを改装することします。施主は藤屋旅館です。

ゲストハウスとは、一般的に旅行者専用ウィークリーマンションの事を意味します。これらの宿泊施設は、一般的なホテルでは無く掃除やベッドメイキングを含む身の回りの事を宿泊者自身で行うのが一般的なスタイルとなります。



新規

[参考]コミュニティ施設「ゆめどの」計画の検討

増福寺周辺の古い建物を活用したり改装して、コミュニティ施設をつくり、左記の活用方法の一部導入を検討します。このコミュニティ施設整備を足掛かりに空き店舗活用を進めます。なお、コミュニティ施設の建設は小渡自治区が担当します。

展開イメージ 消防事務所/市消防詰所が移転予定
昭和の建築物の雰囲気を残し改装して活用します。



◆位置図



活用予定建物
消防事務所/市消防詰所
(小渡公会堂)

旭支所

増福寺(鈴かけ風鈴)

活用予定の建物は、商店が一番集積している場所の中央にあります。空き店舗活用を促すための「しかけづくり」として、絶好の立地です。

取り組み④店舗限定商品券の発行

継続

旭観光協会に協力を依頼し、店舗限定商品券を発行し、地域住民及び観光客等に指定店舗に来店してもらうことにより、商店等を知ってもらいながら、売上アップを図ります。発行の方法は、各種イベント等のクジによる景品として発行し、金額は、各商店等の希望の金額とする。

店舗限定商品券

¥ 0 0 0

〇〇〇商店に限る。

旭観光協会 有効期限

商品券例

取り組み⑤イベント内容の充実

継続

これまでの風鈴祭等の内容の充実を図り、より多くの集客を目指します。また、HPで内容を紹介するなどPRにも努めます。

■風鈴祭 7月第3日曜日開催



■花火大会 8月15日開催



取り組み⑥サービスポイント提供による地域バスの利用促進

継続

平成14年から13商店が加盟して、売上1%のサービスポイントを出している。平成19年10月からの地域バスの運行に合わせ、この地域バスを利用して来店した客にもサービスポイントを提供し、バス利用を応援している。今後もこのサービスを継続していく。

[参考] 夢渡野(ゆめどの)公園の整備

新規

※わくわく事業として実施中

夢渡野公園の整備イメージ



バスを降りて1歩踏み出すと、山を抱いた公園を見渡すことができます。春はしだれ桃の花や雪柳が公園一面を覆い、その様子はまさに桃源郷のようであり、夢のようであります。



VI 事業取り組みスケジュールと目標指数

1 事業取り組みスケジュール

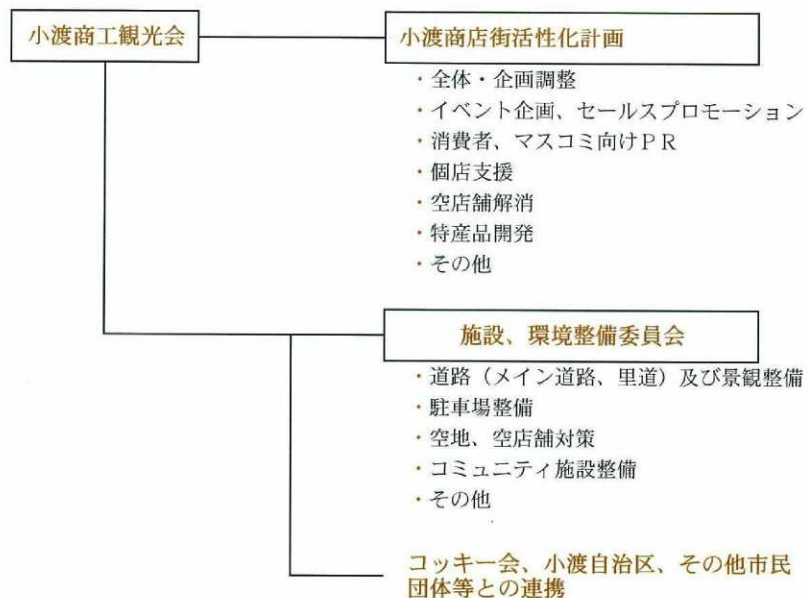
	平成21年度												平成22年度												平成23年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特産品開発 (竹の子)	試作						試作						商品化																							
特産品開発 (自然薯)							試作						試作						商品化																	
散策マップ/予算226千円	企画、製作						配布																													
駐車場整備							調査						交渉、案内板設置																							
イベント企画	風鈴祭等						風鈴祭等						風鈴祭等																							
散策路整備							散策路点検						散策路整備、看板設置																							
空店舗の活用													調査						計画						指導、交渉											
商品券事業							調査検討						事業開始																							

2 目標指数

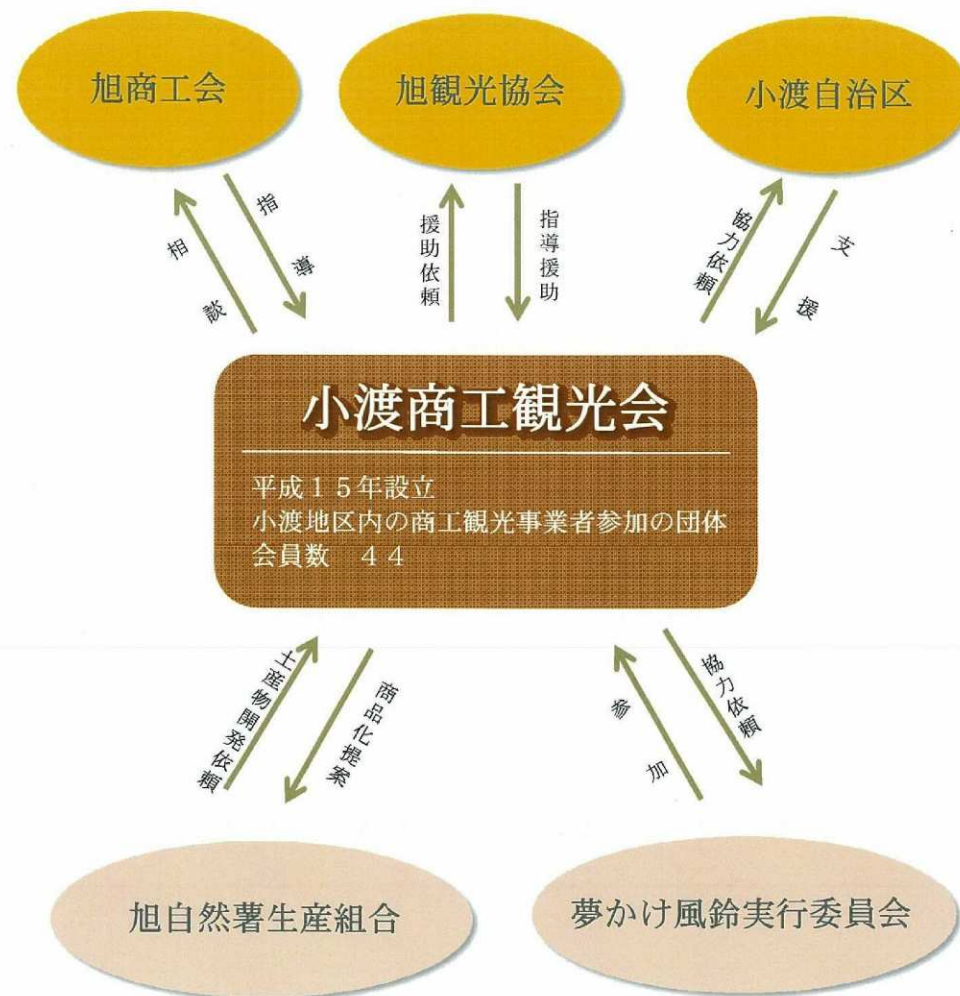
観光客数	平成20年(現状)	1,200人	(風鈴寺調べ)	→	平成23年度目標	2,000人	にする
イベント集客数		7,000人	(花火大会/風鈴祭) (5,000人/2,000人)	→		10,000人	にする
サービスポイント提供		130万ポイント	(平成19年度実績)	→		200万ポイント	にする
商品券発行		1,200枚	(平成19年度実績)	→		2,000枚	にする

VII 事業の推進体制

まちづくり組織



計画組織図



参考 小渡商店街活性化計画策定委員会名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属
委員長	糟谷勝商	小渡商工観光会 青年部
副委員長	岡部佳浩	小渡商工観光会 青年部
	川上康浩	"
	鈴木多枝子	"
委員	三嶋秀樹	小渡商工観光会 青年部
	熊谷幸浩	"
	水野 茂	"
	原田喜隆	"
	中村芳樹	"
	中垣 隆	"
	押切英二	"
	鶴居准基	"
	大内久美子	"
事務局	瀬戸喜朗	旭商工会
	徳川秀城	"

VIII 活動記録

平成19年度

9月4日	準備会	青年部全体会で委員を選定
9月26日	第1回	役員選任、現況と課題の検討
10月17日	第2回	フリートーキング
11月13日	第3回	小渡の紹介したい所、小渡マップに載せたいもの
11月29日	第4回	小渡の商店街は、どうなる。
12月12日	第5回	ガイドマップ現地踏査
1月17日	第6回	特産物の開発について
2月6日	第7回	アンケート調査結果について
2月21日	第8回	特産物の開発について
3月4日	第9回	自然薯の冷凍保存の試作
3月27日	第10回	前回試作の保存状況を調査、商店街活性化事業の計画

平成20年度

4月25日	第1回	景観整備について
5月12日	第2回	わくわく事業のプレゼンについて
5月20日	第3回	夢渡野公園計画について
5月30日	第4回	夢渡野公園の整備計画（6月）について 活性化計画の策定について
6月30日	第5回	夢渡野公園の整備計画（7月）について 活性化計画の策定について
7月31日	第6回	活性化計画の策定について 夢渡野公園の整備計画について
8月30日	第7回	活性化計画案について、旭祭への参加について
9月22日	第8回	活性化計画について、夢渡野公園の整備計画について
10月22日	第9回	活性化計画について、夢渡野公園の整備計画について